

めぐみイエス・キリスト教会

2023年4月9日(日)第二主日イースター礼拝

午前10時より

週報「通算第652号」



2023年標題聖句

第Iヨハネの手紙第5章4節～5節

《神から生まれた者はみな、世に勝つからです。私たちの信仰、これこそ、世に打ち勝った勝利です。世に勝つ者とはだれでしょう。イエスを神の御子と信じる者ではありませんか。》

第一礼拝(教会にて) 毎週日曜日 午前10時～11時

第二礼拝※中止

聖書の学びと祈り会 毎週水曜日 午後6時～(各家庭にて)

牧師 鈴木 竜 実
ますみ

※当教会は、モルモン教、エホバの証人(ものみの塔)、統一教会(原理福音)とは、一切関わりがありません。

◎礼拝プログラム

- 【前奏祈祷】
- 【賛美Ⅰ】 新聖歌392「主の愛の汝が内に」 p. 631
- 【交読文】 No.29 詩篇第95篇 p. 903
- 【賛美Ⅱ】 新聖歌127「墓の中に」 p. 178
- 【使徒信条】
- 【主の祈り】
- 【先週説教】
- 【賛美Ⅲ】 オリジナル曲No.1「復活の日の朝」
- 【聖書朗読】 マルコの福音書16章1節～8節
(新約p. 104下段右側)
- 【礼拝説教】 《週の初めの日の早朝》
- 【聖餐式】
- 【賛美Ⅳ】 新聖歌166「威光・尊厳・栄誉」 p. 236
- 【平和祈り】
- 【頌 栄】 新聖歌63 「父・御子・御霊の」 p. 85
- 【祝祷後奏】

●ポイント1「主の墓まで行った女たち」とは？

※マタイの福音書27章55節～61節「ゴルゴタの丘から」 (新約p.62)

27:55 また、そこには大勢の女たちがいて、遠くから見ていた。ガリラヤからイエスについて来て仕えていた人たちである。

27:56 その中にはマグダラのマリア、ヤコブとヨセフの母マリア、ゼベダイの子たちの母がいた。

27:57 夕方になり、アリマタヤ出身で金持ちの、ヨセフという名の人 came。彼自身もイエスの弟子になっていた。

27:58 この人がピラトのところに行って、イエスのからだの下げ渡しを
願い出た。そこでピラトは渡すように命じた。

27:59 ヨセフはからだを受け取ると、きれいな亜麻布に包み、

27:60 岩を掘って造った自分の新しい墓に納めた。そして墓の入り
口に大きな石を転がしておいて、立ち去った。

27:61 マグダラのマリアともう一人のマリアはそこにいて、墓の方を向
いて座っていた。

●ポイント2「主イエスの最初の現われ」とは？

※マルコの福音書16章9節「アリマタヤのヨセフの墓にて」(新約p.105)

16:9 [さて、週の初めの日の朝早く、よみがえったイエスは、最初にマ
グダラのマリアにご自分を現された。彼女は、かつて七つの悪霊をイ
エスに追い出してもらった人である。]

※マタイの福音書28章8節～10節「弟子たちに知らせに」(新約p.64)

28:8 彼女たちは恐ろしくはあったが大いに喜んで、急いで墓から立
ち去り、弟子たちに知らせようと走って行った。

28:9 すると見よ、イエスが「おはよう」と言って彼女たちの前に現れ
た。彼女たちは近寄ってその足を抱き、イエスを拝した。

28:10 イエスは言われた。「恐れることはありません。行って、私の兄
弟たちに、ガリラヤに行くように言いなさい。そこで私に会えます。」

●ポイント3「最も大切なこと(福音)」とは？

※第 I コリント15章3節～5節「使徒パウロの証言から」(新約p.349)

15:3 私があなたがたに最も大切なこととして伝えたのは、私も受けた
ことであって、次のことです。キリストは、聖書に書いてあるとおりに、
私たちの罪のために死なれたこと、

15:4 また、葬られたこと、また、聖書に書いてあるとおりに、三日目
によみがえられたこと、

15:5 また、ケファに現われ、それから十二弟子に現われたことです。

◎先週の礼拝メッセージ【主イエスの十字架】

《次週4月9日はイースターです。これこそ、私たち主イエス・キリストを信じる者の最大の希望です。しかし、「復活」が成されるには、「十字架の死」を経なければなりません。よって「主イエスの十字架」について、もう一度思い起こして見たいと思います。

詳しい歴史的証拠はないのですが、過越の祭には、毎年、民が望む囚人の解放を、ポンテオ・ピラトは行なっていたようです。このことは、ピラトがユダヤ人の人気を得る為に始めたと伝えられています。ピラトはバラバを解放します。バラバとは、バラバ・イエスで、都に起こった暴動と人殺しのかどで、牢に入れられていた者でした。

ゴルゴタの丘に立てられた三本の十字架の真ん中には、本来バラバ・イエスが掛けられるはずでした。主は、まさしく「罪人」の代わりとして十字架に掛かれたのです。バラバこそ、私たち一人一人のひな形です。主が死なれ、私たちは生かされ、解放されたのです。

また、主イエスだけではなく、二人の強盗も十字架に掛けられました。始めは二人とも主イエスを罵っていたのですが、一人の者が、「おまえは神を恐れないのか。おまえも同じ刑罰を受けているではないか。俺たちは、自分のしたことの報いを受けているのだから当たり前だ。だがこの方は、悪いことを何もしていない。イエス様。あなたが御国に入られるときには、私を思い出して下さい。」と言ったのです。

すると、主は、彼に言われます。

「まことに、あなたに言います。あなたは今日、私と共にパラダイスにいます。」と。何と、十字架上の強盗の中の一人が救われたのです。

やがて全地は暗くなり、主イエスは大声で叫んで、死んで行かれます。その時、地震が起こり、神殿の幕が上から下まで真っ二つに裂けたのです。このことによって誰もが、大祭司主イエスを通して、大胆に父なる神様の御前に、進み出ることが出来る様になったのです。》

◎お知らせ

※次回第三主日礼拝は、4月16日(日)午前10時からです。